

STORY

綿栽培へのきっかけは、協力企業の株式会社知久様から「休耕地を活用したい」との提案を受け、遠州地方は古くから綿の栽培が盛んだったこともあり、機織技術のある遠江学園で綿から糸へ、糸から織りへと繋げていけたらと考えて、取り組みをはじめました。

平成 25 年 5 月にはじめての綿の種まきを行いました。夏の暑い日差しの中でも綿畑の手入れに励み、秋には綿の収穫ができました。

同年 10 月に糸紡ぎ技術を習得するため、講師として染織「み機工房」の中村美喜子さんを迎えて、利用者さん 10 名で「わたつむぎの会」をスタートしました。

利用者さんたちの数年の地道な努力で、機へかけても耐えうる経（たて）糸が紡げるようになり、平成 27 年冬には経糸緯糸 100% 手紡ぎ糸の「遠江尊布」が完成しました。この「遠江尊布」一枚一枚は、技術を習得した利用者さんのみならず、畑仕事や綿繰りをがんばった利用者さんも、ご家族やボランティアさんの温かい協力も、多くの方々の思いが繋がって仕上がっています。今では糸を紡ぐ技術を習得した利用者さんも増え、個性のある糸が来ています。

遠江学園創設者荒岡憲正が掲げた所訓

「無駄をしなさい まわり道をしなさい そしてよく見
つめて良いものをつくりなさい」

この言葉を忘れずに、広大な綿畑、眼下に広がる浜名湖、澄み渡る青空に思いを馳せ、これからも利用者さんと共にゆっくり製品作りをしていきます。

◇糸紡ぎ体験◇

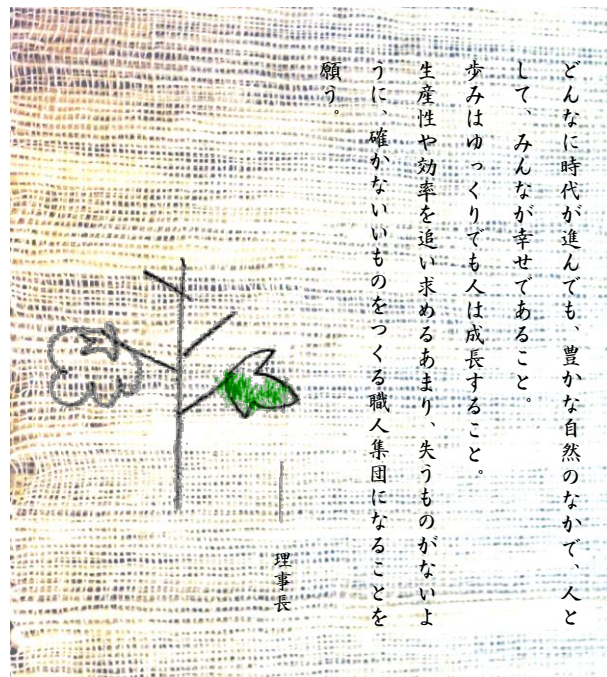
毎週木曜日

13:00～14:00／14:00～15:00

¥500

利用者の皆と一緒に和綿から糸を紡ぐ体験ができます。

お申込みは下記の連絡先まで。



社会福祉法人 遠江学園

〒433-8105

静岡県浜松市北区三方原町 1771-1

TEL：053-430-1238

FAX：053-430-1228

H P：http://tootoumi.or.jp



遠江学園の

わたつむぎ

社会福祉法人遠江学園は、浜名湖のほとりの畑で和綿を栽培し、手紡ぎで糸を作り、織物や編み物などの製品作りをしています。

5月
和綿の種まき

6~9月
水やり、草取り等

10月~1月
和綿収穫

遠江学園は静岡県浜松市、浜名湖畔の庄和町で、農業を使わずに和綿を栽培しています。毎年5月に種をまき、草を取り、夏に綿の花が咲き、秋に実がなって、綿ができます。

洗顔用ミトンコットン
540円

一本織りハンドタオル
(ガラ紡糸使用) 860円

草木染め糸、飾り糸、
手紡ぎ糸、etc.(490円~)

遠江尊布(とおとうみのとおとうふ)マフラー(8600円)

(H28年度静岡県授産製品コンクール県知事賞受賞製品)

100%和綿手つむぎ糸で手織りされた、
3シーズン活躍するマフラーです。

時間をかけてつむいだ糸で手織り、手編みしています。各種マフラー、モビールなども製作しています。
ゆっくり、じっくり、仲間の手で生み出された製品の、やさしい手触りを楽しんでいただけたら幸いです。

収穫した綿は地道に
手作業で種と分け、繊維を揃え、手紡ぎで糸にします。
紡ぎ手によって個性のある糸が生まれています。

わた繰り

電動や手動の綿繰り機で綿と種を分けます。

わた打ち

綿の繊維をそろえます。

糸つむぎ

いろいろな道具を使って
手つむぎで糸を作ります。

手織り

手動式ガラ紡機(明治期の国産紡績機の現代版)でガラ紡糸も製作しています。

丁寧に手織りしています。